

平成30年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成29年度分)

河北町教育委員会

(平成30年9月)

# 目 次

I	河北町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1	制度の概要及び目的	1
2	点検・評価の対象事業	1
3	点検・評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1	総合教育会議の開催	2
2	教育委員会（協議会）の開催	2
3	教育委員会会議以外の活動	3
4	教育委員の報酬	3
III	施策の体系	4
IV	外部評価委員の意見	5
V	点検・評価対象事業一覧	9
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	11

# I 河北町教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1 制度の概要及び目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成29年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

## 3 点検・評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

## 4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

## 河北町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
佐藤 正弘	学識経験者
斎藤 健一	学識経験者
大沼 恵美子	学識経験者

## II 教育委員会の活動状況

### 1 総合教育会議の開催

開催日	協 議 件 名
12月 4日	平成30年度教育事業について 外1件
3月28日	河北町いじめ防止対策について 外1件

### 2 教育委員会（協議会）の開催

#### (1) 会議

- ・委員会 10回
- ・協議会 4回
- ・議案 19件
- ・協議等 29件

開催日	区 分		議 案 協 議 件 名
4月 8日	協議会	協議等	USBメモリー紛失の事案について
4月27日	委員会	議案	河北町指定文化財の指定解除について 外1件
		協議等	平成30年度西村山地方開発重要事業要望書(案)について 外4件
5月26日	協議会	協議等	中央図書館資料の破損被害について 外2件
6月29日	委員会	議案	各種委員の委嘱についての専決処分について 外1件
		協議等	河北町人材育成奨学金給付制度について 外1件
7月20日	委員会	議案	平成30年度使用教科用図書の選択について 外1件
		協議等	新しいALTについて 外1件
8月24日	委員会	議案	平成29年度準要保護児童の認定取消について 外1件
		協議等	9月補正の内容について 外1件
9月21日	委員会	議案	平成29年度準要保護児童の追加認定について

		協議等	河北町教育委員会委員について 外1件
10月26日	協議会	協議等	第1回小学校の将来を考える会について 外1件
11月22日	委員会	議案	河北町児童生徒就学援助費支給規程の制定について
		協議等	河北町民プールについて
12月21日	協議会	協議等	第2回小学校の将来を考える会について 外1件
1月25日	委員会	議案	河北町いじめ防止基本方針(案)について 外1件
		協議等	河北町民プールについて
2月22日	委員会	議案	平成30年度新入学児童生徒学用品費支給認定について
		協議等	3月補正及び平成30年度当初予算について 外2件
3月8日	委員会	議案	平成30年度河北町立小中学校教職員人事異動内申について 外1件
3月28日	委員会	議案	平成30年度河北町教育委員会事務局職員の異動承認について 外3件
		協議等	河北町民プールについて 外1件

### 3 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月2日	西里小学校	6月12日	北谷地小学校
6月22日	河北中学校	6月29日	溝延小学校
10月17日	谷地西部小学校	11月6日	谷地中部小学校
11月22日	谷地南部小学校		

#### (2) その他調査・研修活動・会議等

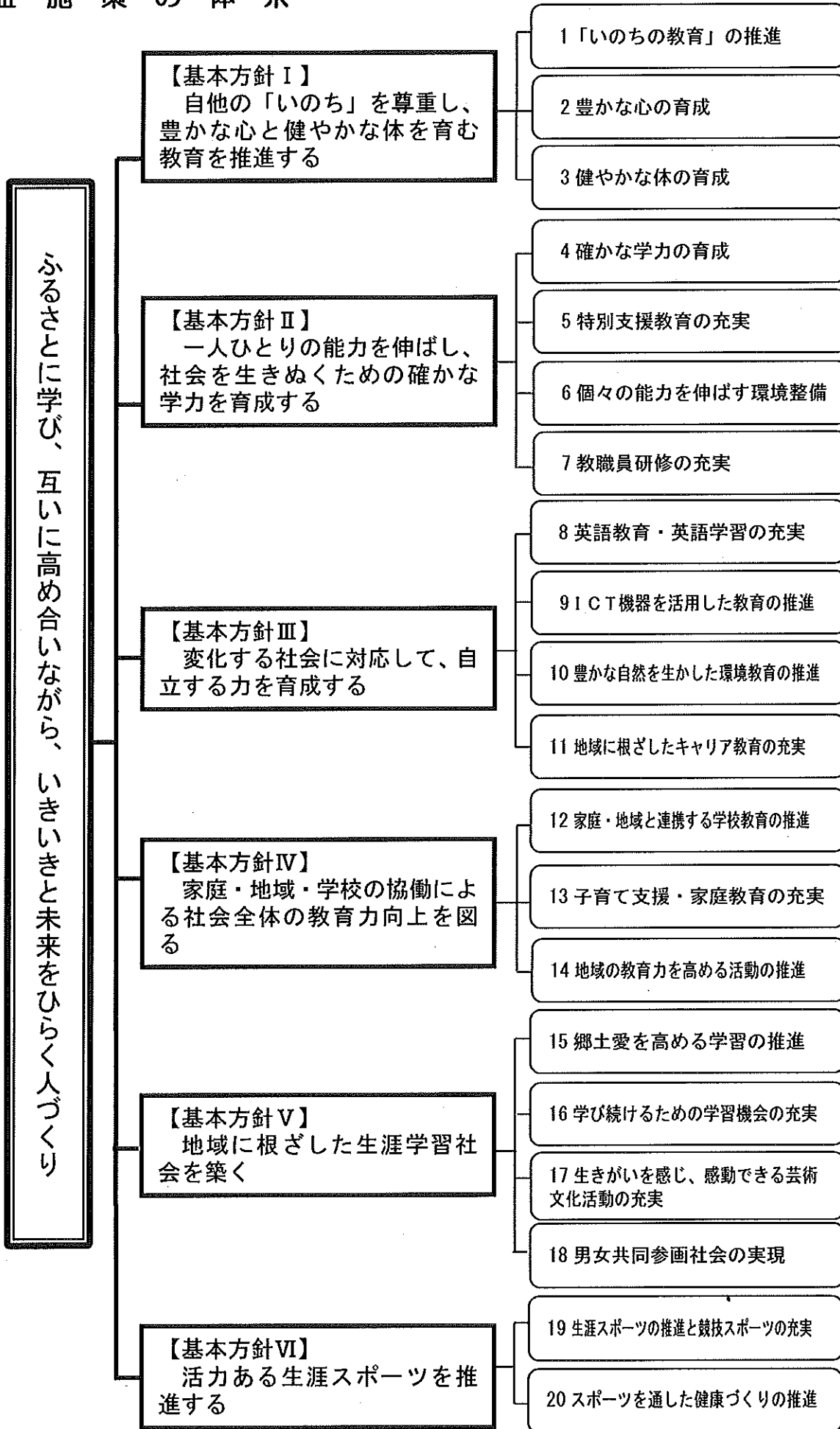
(ア) 調査・研修 20件

(イ) 会議 2件

### 4 教育委員の報酬

(年) 243,000円

### Ⅲ 施策の体系



## IV 外部評価委員の意見

第2次河北町教育振興計画の初年度でした。目標に掲げた、「ふるさとに学び、互いに高め合いながら、いきいきと未来をひらく人づくり」に向けて、学校教育並びに生涯教育の両分野にわたって事務事業が展開され、学校及び家庭、地域社会に於ける取り組みが、着実な成果を上げているものと評価いたします。

また、町内の小・中学校は、児童生徒数の減少、不登校、いじめ対策をはじめ、個別の支援を必要とする児童生徒への対応、考える力を養う授業への改善など、今日的な課題の解決、改善に向けて積極的に取り組んでいるように思います。

生涯学習の面では、サハトベに花、地区公民館、町民体育館、町民プールなどを核とした意欲的な活動が多く見られます。「かほく町民大学ひなカレッジ」は、毎年、素晴らしい内容の講座を提供しております。少数のスタッフで苦勞も多いことだろうと思います。支援を強化する必要があるように思います。プラネタリウムの魅力アップの取り組みは素晴らしいと思います。町民プールの利用者は、まだ、町民の一部が利用している段階ですが、施設は快適ですし、職員の対応も良く、次第に町民の健康施設として認知され、多くの町民に利用していただけるのではないかと考えています。

「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に登録されました。その構成文化財は本町関係が最も多く、町民として誇りに思います。多くの方から文化財をご覧いただいて、身近に感じていただけるように、環境整備を更に推進していただきたいと思えます。

### 1 学校教育

(1) 町内全小中学校では、「いのちを尊重し豊かな心と健やかな体を育み、個々の能力を伸ばし、確かな学力を育成する、自立する力を育成する」ということを目標に据えた学校経営が適切に行われていると思えます。

(2) 教育環境の整備については、各学校の状況を適切に判断し、緊急性のある修繕や老朽化、耐震補強については、迅速かつ計画的に進めて児童生徒の安全・適切な環境整備に努めていただきたいと思います。大阪のブロック塀による死亡事故を教訓に、敷地内や通学路についても点検を定期的実施して欲しいと思えます。

授業時間数が増えたことから、熱中症対策にも力を入れる必要があります。地球温暖化にも対応した教室環境の整備を、計画的に推進していくことが大切になってくるように思っております。

(3) 少子化に伴い、児童生徒数がじわじわと減少しております。学区再編については、教育振興計画を受けて、地域住民や保護者等の意見を聴取する「小学校の将来を考える会」を開催できました。微妙な問題でもあり安易に結論を出してはいけないと思えますが、将来的には避けて通れないことでもあります。将来を見据え、こども達が学びやすい教育環境を目指し、時間をかけて、多角的に検討を重ねて問題を整理していくことが必要であると思えます。

- (4) 「特色ある学校づくり」は、地域の歴史・自然とのかかわりを大切にして実践されており、授業時間にゆとりが無くなる傾向にあります。各校で「べに花と米で栄えた河北町」を体験的に学んで、郷土に誇りを持って卒業してほしいと願っています。こうした取り組みの充実を期待しています。
- (5) 英語教育・外国語活動推進事業については、ALTを2名に、英語指導支援員も2名に増員して指導の充実を図ったことは、国際化社会に対応する人材育成の面からも適切な対応であったと思います。また、教職員のセミナー開催など、着実に機能強化が図られています。今後とも、継続・拡充することを望みます。
- (6) 学級数減に伴った教職員定数の削減は、これまでのように個に丁寧に寄り添った教育を継続実践する上で大きな不安材料になっているようです。学習生活指導補助員の増員配置は大変効果的であったと思われます。
- (7) パソコンに依存する度合いが、ますます高まる状況ですが、本に親しみ、繰り返して読むことでしか得られないことも多くあります。学校図書館の充実を期待しています。図書館司書の配置はすばらしいことです。是非継続していただきたいと思います。
- (8) いのちの教育については、自他のいのちを尊重することの大切さを、家庭の協力を得ながら、あらゆる機会をとらえて考えさせる取り組みを期待しています。  
不登校・いじめなどの事態に繋がる言動を見逃さないなど、各校で力を入れて取り組んでいると思いますが、常日頃の見守りと心配りについて、これからも継続して重点的に取り組んでほしいと思います。
- (9) 昔に比べ、身を守る術が不十分な子どもが増えている感じがします。かつては遊びを通して身に着けた術であったと思いますが、学校・家庭・地域が、意図的に、身体を使って遊ぶ場面が多くなるような手立てをとることも必要だと考えます。
- (10) 谷地高等学校は、地域に根差した取り組みを多く展開しています。どんが祭りや独居老人宅の雪掃き、吹奏楽部による小学校や中学校での指導協力など、多くの分野での地域貢献とも言える活躍が見られます。そして、地域スポーツ力向上に大きく寄与しています。平成29年度の高校入試倍率はとても高く、1.23倍となりました。カヌー部の活躍は、町民に自信を持たせてくれています。しかし、入学定員減(学級数)の発表があり、影響を危惧せざるを得ません。近隣市町からの通学バス運行の援助など、谷地高校存続への物心両面からの支援強化が望まれます。
- (11) 「食育」は、豊かな心と健やかな体を育成する基本だと思います。給食の献立に郷土料理や伝統料理を考慮するとともに、地産地消を推進するための生産者との交流給食会を実施しています。これは、郷土学習にもつながる大事なことなので、是非、今後も継続していただきたいと思います。  
また、アレルギー体質の児童生徒には、特段の注意を払っていると思います。手数がかかることと思いますが、いのちを守る上で必要なことです。これからも継続して適切な対応をしていただきたいと思います。



## 2 生涯学習

- (1) 西里、溝延、北谷地の地区公民館（センター）は、それぞれの地域で、社会教育の拠点となっています。それぞれ「運営協議会」が組織され、地域の自主管理がなされております。今後とも、適切な運営ができるよう、施設の維持管理、運営補助を継続実施していくことが必要と思います。

各センターの利用状況は、前年度と比較しやや減少ということですが、ちょっとした打ち合わせやサークルの練習は「どんがホール」などを使用していることが多くみられます。それぞれの特徴を生かして利用しているものと考えます。

- (2) 成人式・はたちのつどい事業については、河北町独自の運営方式で運営されています。平成29年度も8割を超える新成人が集いました。整然とした式典と、町青年団が主体となった実行委員会の企画・運営で、和やかな『はたちのつどい』は、先輩と後輩、地域の繋がりを大切にされた素晴らしい内容だと思います。良き伝統として引き継いでほしいと願います。担当者が準備を進めやすいように行政からの支援を強化継続していただきたいと思います。

- (3) 文化財保護事業については、地域に存在する大切な歴史を探求調査し、貴重な文化財として指定保存することに努めています。文化財を保存・活用することで、郷土を誇りに思い郷土を愛する心を育みます。

「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定され、その構成文化財として、河北町関連の15項目が発表されました。他の市町を圧倒する数です。河北町が《文化の町》であることを再認識し、継承し、保存、充実していく責務を感じたところです。

安部権内家屋形の保存・整備・公開については、有志による保存会の献身的な活動によるところが大きく、町の更なるバックアップが望まれます。

広報かほくに掲載されている「かほく風土記」は、町内文化財の道案内としての役割を担っています。また、河北町の歴史講座にも多くの参加者があり、好評であることから、今後とも続けていただきたいと思います。

- (4) 河北町総合交流センターサハトベに花の管理・運営事業に関しては、町の文化活動の拠点として、式典や諸大会、演奏会など会館機能の利点を生かした活用が見られ、前年度利用実績を上回る利用がありました。特に、プラネタリウムの利用が伸びています。担当職員の研修を重ねたことと、天文愛好グループと連携した魅力アップの取り組みが功を奏しているものと思います。今後とも魅力創出の工夫を進めるとともに、PRの強化を図ってほしいと思います。また、リピーターの確保と、児童生徒の学習の場としての利用拡大に努めていただきたいと思います。

- (5) 生涯スポーツの推進を図るための各種事業・大会とも、内容が充実し、定着した活動に繋がっていると言えます。中でも、河北スポーツクラブの活動は、自主運営ながら、広報活動と新規教室の開催などで、確実な広がりを見せています。

また、22回を数える区対抗総合スポーツ交流大会は、町民の融和と地区民親睦の場として大いに意義のある大会だと思います。出場していない地区への参加を促すとともに、大会を続けていただきたいと考えます。また、大会運営の適正かつ迅速な進

行に努めていただきたいと思います。町民に、さまざまな健康づくりの活動機会を提供し、「寝たきり」を減らし健康寿命を延ばす意味からも、多くの町民が参加する大会になることを願っています。

- (6) べにばなマラソンは、町内外から、毎回多くの参加者で賑わいます。コースや会場に制約もありますが、町民の更なる盛り上がりを考えると、応援する方も増えることが望まれます。
- (7) 河北町民プールは、屋内の温水プールとトレーニング室が通年で利用でき、町民の健康づくりのために活用されています。リピーターも多いようです。屋外にある50mプールと幼児向けプールは夏季だけの開放です。経費面からも適切な設定と考えます。もっと多くの町民に利用していただき、体力づくりと健康寿命を延ばすことに繋がってほしいと期待しております。
- (8) スポーツ少年団などは、少子化に加えて、参加形態も種目も多様化していることから、団員数確保に苦勞しています。各小学校毎に組織されていた、野球や卓球、ミニバスケも、統合が進んでいる状況となっており、今後は、指導者・保護者と協力しながら、スポーツに親しむ子ども達の育成に力を注いでほしいと思います。

## V 点検・評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	教育環境の整備	学校教育課	継続	
2	教育の質の向上	学校教育課	継続	
3	教育相談の充実	学校教育課	継続	
4	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
5	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
6	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
7	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携	学校教育課	継続	
8	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
9	健やかな体の育成	学校教育課	継続	
10	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
11	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
12	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
13	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
14	公民館事業	生涯学習課	継続	
15	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
16	図書館事業	生涯学習課	継続	
17	文化財総務事業	生涯学習課	継続	
18	文化財保護事業	生涯学習課	継続	
19	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
20	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
21	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	

22	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
23	交流館遊戯事業	生涯学習課	継続	
24	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
25	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	
26	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
27	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	
28	体育施設事業	生涯学習課	継続	
29	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	1 教育環境の整備
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	II一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生き抜くための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

## 2 事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 環境整備の計画的実施 (2) 教育備品等の充実 (3) 学校図書館の充実

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	42,824	補正額等	6,167	合計	49,275	決算額	48,054
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1) 溝延小学校屋外遊具設置工事、河北中学校中庭給水管更新工事及び小学校網戸設置工事など (2) 汎用ソフトを組み入れた、学習用パソコンの運用など (3) 谷地中部小学校プールフロア購入及び河北中学校理科備品購入など (4) 小学校の将来を考える会の開催（3回）
---

## 5 事業の評価

(1) 非構造物の耐震化の取組と、継続して老朽化等に対応する計画的修繕を行う必要がある。 (2) 学習用パソコンの内容充実と併せ校務用パソコンの活用を図った。 (3) 継続した図書の本の整備と充実を図った。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後とも、環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組むべきである。 学区再編については、第2次河北町教育振興計画を基に、子どもたちが学びやすい教育環境の構築を目指していく必要がある。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	2 教育の質の向上
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○英語教育・英語学習の充実など
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小・中学校費
	目	4・1	教育研究所費・学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 地域交流学習活動の充実 (2) 教員研修の充実 (3) 感性をはぐくむ教育・心の教育の実践 (4) 英語教育の実践 (5) 外国語活動推進事業の推進

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	15,159	補正額等	△1,028	合計	14,131	決算額	14,014
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

- (1) 「地域交流学習活動」初年、各校とも全体テーマを設定し、地域の人々とのかかわりを大切にしながら実施した。
- (2) 教育研究所(6研究部会、3専門部会)において、今日的課題について主体的な研修を実施した。
- (3) 音楽会や芸術鑑賞、町の歴史文化等に触れるため遊戯の郷土資料館等の活用を実施した。
- (4) A L Tを2名体制とし強化を図ると共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、英語指導支援員も2名体制とした。
- (5) 英語活動推進事業として、小学校の教職員を対象にブラッシュアップセミナーを開催した。

## 5 事業の評価

- (1) 今年度初年度となる「地域交流学習活動」事業を実施し、地域の方の協力を得ながら取り組むことができた。
- (2) 主体的な研修を実施し、新たな教育課題に対応する指導の向上を図ることができた。
- (3) 継続して音楽会や芸術鑑賞を実施すると共に、町の施設や人材を活用することが図られた。
- (4) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、今後も英語に係る小中学校の更なる連携を検討していく必要がある。
- (5) 外国語活動推進事業を実施し、これからの英語教育について調査及び検証するとともに、英語の普及活動につなげることができた。

## 6 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」育むため、豊かな人間性と専門的な知識・技術などを基盤とする実践的指導力をもった教員の継続した育成を図る。 地域とのつながりをより強化する「地域交流学習事業」を発展させると共に、教育研究所の機能強化を図る。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	3 教育相談の充実	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する	予算科目	款	10	教育費
	○「いのちの教育」の推進など		項	1	教育総務費
			目	2	事務局費

## 2 事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,916	補正額等	△179	合計	2,737	決算額	2,674
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 中学校に配置された2人(県費)のスクールカウンセラー(臨床心理士)を活用して、小学校に2人(町費)のスクールカウンセラーを配置した。
(2) 教育相談員2人(町費)を配置して、不登校児童・生徒等への対応を行った。
(3) 適応指導教室(ゆうゆう教室)に1人の指導員を配置し、児童・生徒への指導を行った。
(4) 河北町いじめ防止対策の推進に関する条例の制定及び河北町いじめ防止基本方針を策定した。

## 5 事業の評価

(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・援助等を行い、学校におけるカウンセリング機能の向上に努めた。
(2) 教育相談員は、学校を訪問しながら、別室、適応指導教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施等も行った。
(3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や普通学級復帰へ繋げた。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ストレスが増えた現代社会における、教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取組が必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	4 特別支援教育の充実
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	Ⅱ一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する
教育振興計画	○特別支援教育の充実

目 予 算 科 目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育の実践・検証 (2) 長期的視野に立った支援体制の整備 (3) 個に応じた指導・支援の充実 など

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	10,875	補正額等	756	合計	11,631	決算額	11,131
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

<p>(1) 町教育研究所において、全教職員対象の特別支援教育講座(3回)を開催する等、特別支援教育の確実な実践につなげた。</p> <p>(2) 幼稚園や認定こども園と連携をとると共に、個に応じた指導や適正な就学につないだ。</p> <p>(3) 学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学校の必要性に応じて学習生活指導補助員(小学10人、中学1人)を1名増員配置した。</p>
---

## 5 事業の評価

<p>(1) 具体的ケースを基にした研修や、別角度の視点での講座の設置等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取組を行う。</p> <p>(2) 各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園や認定こども園と連携を進める。</p> <p>(3) 実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。</p>
---

## 6 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>個別に支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取組を行っていく。</p>



# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	5 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する
	○「いのちの教育」の推進 ○健やかな体の育成

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) 安全・安心な学校づくり など

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,960	補正額等	0	合計	4,960	決算額	4,958
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 自他のいのちを大切に、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。
(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、校医の先生等からの指導等を得て改善に取り組んだ。
(3) 通学路や地域の危険箇所の調査結果を基に、通学路安全推進会議で点検・対応を行った。

## 5 事業の評価

(1) 自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を推進することができた。
(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進することができた。
(3) 施設の安全面の整備はもとより、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者、地域の方と共に進めていく。引き続き、安全・安心な学校づくりに努めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	6 キャリア教育の推進
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○地域に根ざしたキャリア教育の充実
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	3	中学校費
	目	2	教育振興費

## 2 事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 小学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実 (3) キャリア教育のための環境整備

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	501	補正額等	0	合計	501	決算額	500
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 地域交流学習活動事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞く等、小学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。
(2) 中学校2年生で3日間、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、3年生では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方等を学んだ。

## 5 事業の評価

(1) 家庭における家事の分担等、発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。
(2) 中学では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

<b>事業名</b>	7 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携	<b>所管課・係</b>	学校教育課 管理係									
<b>施策体系</b> (教育振興計画)	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育 力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	<b>予算科目</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">款</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>教育総務費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>2</td> <td>事務局費外</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費外
款	10	教育費										
項	1	教育総務費										
目	2	事務局費外										

## 2 事業の概要

<b>事業目的</b>	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
<b>事業内容</b>	(1) 開かれた学校づくりの推進 (2) 地域の教育力の活用 (3) 基本的な生活習慣・学習習慣の確立 (4) 安全を守るための連携

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	266	補正額等	0	合計	266	決算額	266
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

	(1) 各学校に学校評議員を委嘱し、保護者・地域住民の意見を学校運営等に反映させた。 (2) 体験学習での畑の先生や学校支援地域本部事業など、地域の方々の協力を得ると共に、地域の行事への参加などを推進した。 (3) あいさつ運動や、家庭の日の推進、家庭学習(小学全校家庭学習の手引きを発行)の定着など、学校・家庭・地域が連携して進めることができた。 (4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員(1人)を配置し児童生徒の安全確保を図った。
--	--

## 5 事業の評価

	(1) 各学校評議員を委嘱し、学校の課題を共有する、等開かれた学校づくりを推進する。 (2) 学校支援地域本部事業の周知を継続し、地域の方々の協力を得る等取組みを進める。 (3) 家庭学習の定着など、学校・家庭・地域が連携して進める。 (4) 地域の方々の協力のもと、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員の配置や安全施設の整備を進める。
--	--

## 6 今後の対応等

<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	子どもの社会的認識を培い、生きる力や心の教育など多面的な発達を促進していくために「開かれた学校づくり」や、保護者・地域住民の学校経営への理解と参画を得て、信頼される学校づくりを進める必要がある。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	8 地域と共にある高校教育への支援
-----	-------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育 力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	1	教育委員会費
		2	事務局費

## 2 事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 地域と学校との連携強化

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	820	補正額等	△111	合計	709	決算額	707
-------	-----	------	------	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 河北町育英会に対し、奨学金貸付の借入金利子等の補助金をした。
(2) 地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付した。

## 5 事業の評価

(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。
(2) 町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めていくため、地域に貢献する教育活動や土日祝日の通学バス運行経費等、支援していく必要がある。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付して支援していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1 事業名等

事業名	9 健やかな体の育成
-----	------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する 健やかな体の育成 ・食育の推進 ・安全・安心な学校給食の提供
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項目	5	保健体育費
		4	給食センター費

## 2 事業の概要

事業目的	健やかな体の育成
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 地場産物の食材の安定供給と子どもたち理解 (3) 食の安全の推進 (4) 給食施設・設備等の計画的更新

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	155,361	補正額等	△594	合計	154,767	決算額	153,937
-------	---------	------	------	----	---------	-----	---------

## 4 事業の実施状況

(1) 各校で食育計画を策定し推進するとともに、栄養教諭による食に関する巡回指導・食育授業を実施した。
(2) 生産団体との連携を深め、地場産物を可能な限り取り入れた。また、じゃがいも・玉ねぎ生産者と子どもたちとの交流給食会を実施するとともに、地元生産者を各校に紹介した。
(3) 調理師・配膳員を対象に衛生研修会を開催した。また、食材の放射性物質検査、微生物・理化学検査を行った。
(4) 蒸気ボイラー及び高圧ケーブルを更新した。

## 5 事業の評価

(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭の指導を実施する。
(2) 郷土料理・特産物を多く献立に取り入れることや、地場産品の子どもへの周知等更なる拡大を図る。
(3) 食の安全確保のため食材の各種検査を実施するとともに、調理現場での衛生管理の徹底を図る。
(4) 衛生面かつ安全面から計画的に施設・設備等を更新していく必要がある。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒自身の食生活は学校給食だけでなく、家庭での食事が中心となるなどのため、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努めるとともに、施設・設備等の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	10 農村環境改善施設事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 6 農村環境改善施設費

## 2 事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	26,481	補正額等	3,721	合計	30,202	決算額	29,673
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1)	各センターの運営協議会開催	2回ずつ		
(2)	利用者数と利用料金			
	・農村環境改善センター（西里地区公民館）	13,977人	451,833円	
	・溝延研修センター（溝延地区公民館）	15,380人	420,217円	
	・北谷地構造改善センター（北谷地地区公民館）	11,082人	316,854円	
(3)	工事等			
	・農村環境改善センター			
	遊具落下転送防止ネット設置工事、遊具修繕（塗装）工事、多目的ホールLEDランプ交換工事、多目的ホール床点検口修繕、ブラインド修理、漏水修繕、手洗器排水修繕、正面入口誘導灯修繕			
	・溝延研修センター			
	蛍光管取替、女子トイレ修繕、漏電修繕、サッシ片引戸ガラス修繕、プレハブ小屋解体、外灯修繕			
	・北谷地構造改善センター			
	東側屋根修繕、ポーチ・正面玄関ポーチ等タイル修繕、多目的ホール折半レフ修繕工事、食品実習室排水修繕、卓球台修繕			
(4)	備品購入			
	・冷蔵庫（農村環境改善センター）			
	・ブルーバーナー（溝延研修センター、北谷地構造改善センター）			

## 5 事業の評価

地域の活性化および連帯感の醸成、地域住民の健康の増進、生活文化の振興等に寄与するための施設として、適切な管理運営に努めた。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各施設で小規模な修繕を行ったが、予想される大規模修繕に関しては計画的に執行し、施設の適切な維持管理と利用者の利便性を確保する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

<b>事業名</b>	11 社会教育総務事業	<b>所管課・係</b>	生涯学習課 生涯学習係
<b>施策体系</b> (教育振興計画)	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進 ○地域の教育力を高める活動の推進	<b>予算科目</b>	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 1 社会教育総務費

## 2 事業の概要

<b>事業目的</b>	地域住民が積極的に生涯教育活動に関わり地域の教育力を向上
<b>事業内容</b>	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、学校支援本部事業、家庭教育支援事業、伝統文化等地域活性化事業等

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,583	補正額等	▲449	合計	4,134	決算額	4,033
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 社会教育委員	・委員会を2回開催し、委員より生涯学習事業全般について意見を求めている。
(2) 社会教育推進員	・事業全般に協力。青少年育成推進員との合同会議を2回、研修会を1回開催
(3) 青少年育成推進員	・各種少年向け事業の運営、青少年健全育成のための巡回などに協力
(4) 少年教育・青年教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第29回爽やかサイクリング 平成29年10月14日(土) 26人参加</li> <li>・第27回子どものつどい 平成30年 3月 3日(土) 12人参加</li> <li>・家庭の日イベント けん玉体験教室 平成29年11月19日(日)</li> <li style="padding-left: 20px;">キッズダンス 平成30年 1月21日(日)</li> <li>・べに花の種プレゼント 平成29年 4月 9日(日)</li> <li>・第37回最上紅花切花展 7月 9日(日)</li> </ul>
(5) 学校支援地域本部事業	・教育委員会にコーディネーターを配置し、各学校の要望把握とボランティアの人材確保および調整を図ることで学校を支援した。
(6) 家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた子育て講座 町内7小中学校</li> <li>・幼児共育ふれあい広場 町内1幼稚園、1こども園、1子育てセンター</li> </ul>
(7) 各種団体への補助	・青年団、婦人会、子ども会育成会連絡協議会、青少年育成町民会議へ補助金を支出した。
(8) 伝統文化等地域活性化事業	・伝統文化の継承団体に補助金を支出した。 3団体

## 5 事業の評価

少年教育・青年教育では、爽やかサイクリング、子どものつどいとも昨年度に比べ参加者が減少したが、社会教育委員や社会教育・青少年育成両推進員、子ども会育成会役員、青年団員など多くの方々の協力を得ながら事業を実施することができた。
--

## 6 今後の対応等

<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	参加者を募集するイベントに関しては、告知方法の見直しや他のイベントの日程確認を行い、参加者の増加を図る。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	12 成人式・はたちのつどい事業
-----	------------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

## 2 事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	883	補正額等	0	合計	883	決算額	871
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 成人式・はたちのつどい 平成30年1月7日(日)
・成人式の式典をサハトベに花で、引き続きはたちのつどいを町民体育館で開催した。平成24年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、対象175人中、144人が式典に参加した。 なお、青年団員が主体となった実行委員が企画・運営した「はたちのつどい」は、飲食を伴いながら恩師や旧友と語り合うことができる、楽しい集いの場となった。
(2) 成人式・はたちのつどい写真展 平成30年2月3日(土)・4日(日)
・サハトベに花で開催し、はたちのつどい実行委員が撮影したスナップ写真の注文を受け付け、合わせて記念品(クラスごとの集合写真)を贈呈した。

## 5 事業の評価

成人式は、厳かな雰囲気の中で滞りなく終えた。「はたちのつどい」は、実行委員会の中核となる町青年団の団員数と活動可能な時間が減少しており、実行委員の確保が課題であるが、各実行委員が工夫を凝らして例年同様に開催することができた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	成人年齢引き下げの法案可決もあり、成人式およびはたちのつどいの運営方法についての情報収集と検討を行っていく。



# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	13 放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

## 2 事業の概要

事業目的	子どもの安全な遊び場の確保、体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から10月までの期間の水曜日に子どもの遊び場を確保

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	551	補正額等	▲60	合計	491	決算額	471
-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 子どもの居場所づくり事業												
<p>・平成16年度から取り組んでいる事業であり、運営委員でもある各地区青少年育成町民会議役員、各学校及び各放課後児童クラブの協力を得て、6月から10月の夏休みを除く水曜日の放課後を基本にして、5種類（ビーズアクセサリー、おりがみ、俳句、英語、キッズダンス）の講座を含めた事業を展開した。</p> <p>町内の学区ごとに6会場で実施し、一日平均で約74人が参加した。なお、教室別の1回あたりの平均人数は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>西里放課後子ども教室</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>溝延放課後子ども教室</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>谷地中部放課後子ども教室</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>谷地南部放課後子ども教室</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>谷地西部放課後子ども教室</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>北谷地放課後子ども教室</td> <td>8人</td> </tr> </table>	西里放課後子ども教室	18人	溝延放課後子ども教室	10人	谷地中部放課後子ども教室	43人	谷地南部放課後子ども教室	15人	谷地西部放課後子ども教室	5人	北谷地放課後子ども教室	8人
西里放課後子ども教室	18人											
溝延放課後子ども教室	10人											
谷地中部放課後子ども教室	43人											
谷地南部放課後子ども教室	15人											
谷地西部放課後子ども教室	5人											
北谷地放課後子ども教室	8人											

## 5 事業の評価

<p>異年齢の子ども同士が交流する場として定着している。地域の方々にコーディネーター役と見守り役をお願いしているが、地区毎に教室の規模や子どもの参加者数が異なるため、地区の状況に合わせた運営が必要である。</p>
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>事業実施には地区や学校との連携協力が必要不可欠であり、今後も地域と学校の状況に合わせた運営を行っていく。</p>

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	14 公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

## 2 事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館事業、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,733	補正額等	0	合計	4,733	決算額	4,352
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 青少年講座 ・べに花かほく体験隊 平成30年2月18日(日) 町内の八百屋の方を講師に招き、26人の子どもたちがチョコバナナづくりに挑戦した。
(2) 青年講座 ・やんぐ講座 平成30年2月24日(土) 初心者の方でも簡単にできる、デコ巻きずし教室を開催、14名が参加した。
(3) 婦人文化教室 ・開級式、閉級式、移動学習、文化祭発表、各学級の活動等を支援した。
(4) かほく町民大学ひなカレッジ ・17人の実行委員が中心となって、大講座、小講座、公開講座、閉講式を開催した。 大講座 ロバート キャンベル講演会 平成29年9月2日(土) 入場者331人 小講座 べにはなラボ、大人の部活動、こころ学、女性の磨き学、恋する歴史学 受講生延べ93人 公開講座 かほくシネマ倶楽部(優秀映画鑑賞推進事業)、今日からときめく片づけ講座、死の悲しみ にまつわる誤解について 閉講式 アンサンブル・ルポゼ ミニコンサート 平成29年12月23日(土)
(5) 生涯学習講師派遣事業 ・登録されている対象団体数は57あり、学習の一部補助として1件5,000円を補助している。 平成29年度は8件を支援した。
(6) 自治公民館(分館) ・自治公民館の耐震補強、改造に対して公民館整備事業補助金を支出した。 ・自治公民館80館で連絡協議会を組織し、総会、大会、視察研修の事業を実施した。

## 5 事業の評価

かほく町民大学ひなカレッジは、経験豊富な実行委員が積極的に企画・運営等に関わり、良い意味で行政主導とは異なる視点や発想で多様な講座を展開している。また、事業内容の見直しや新しい講座についても活発に議論され取り組んでいる。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ひなカレッジ実行委員との連絡を密にし、より多くの方が参加できるよう早めの告知を行うなど支援を継続する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	15 地区公民館事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
---------------------	--

予算科目	款	10 教育費
	項	4 社会教育費
	目	2 公民館費

## 2 事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,142	補正額等	0	合計	1,142	決算額	1,044
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 文化教養講座	
・文化教室（西里） 8学級延べ129人	・婦人会各学級（溝延） 6学級延べ106人
・大昭大学（溝延） 93人	・あじさい学級（溝延） 36人
・文芸学級（北谷地） 8学級延べ123人	
(2) 学習講座	
・しめ飾り作り（西里）	西里小学校5年生参加
・小正月行事（溝延）	溝延小学校1年生参加
・ミニ門松づくり（北谷地）	北谷地小学校5年生参加
・小正月行事（北谷地）	北谷地小学校1・2年生参加
(3) その他の講座等（各地区）	
・子どもの居場所づくり事業 10回ずつ	
・地区公開講座 1回ずつ	
・地区文化祭 1回ずつ	
・新春を祝う会 1回ずつ	
・やすらぎのまちづくり事業における交流会 1回ずつ	
・輪投げ大会、スカットボール大会、ゲートボール大会 等	
(4) センターだよりの発行（各地区）	

## 5 事業の評価

館長、管理人、担当職員の連携のもとで各種団体、地域、学校等の協力を得ながら、各種講座・文化祭・スポーツ大会などの事業に取り組んだ。講座には女性や高齢者のリピーターを中心に一定の参加者数があるが、新たな参加者が参加しやすいようにしていく必要もある。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後もより多くの人に参加できるよう、内容の充実に向けて創意工夫に努める。学習講座の講師は、老人クラブの方が中心であるが、次世代への技術の継承を図っていく。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	16 図書館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 3 図書館費

## 2 事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	指定管理者制度の導入による施設運営、備品（蔵書）の計画的な購入

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	27,393	補正額等	129	合計	27,522	決算額	27,520
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1) 図書館の運営	・ NPO法人河北まちづくりネットワークひまわりが指定管理者となり、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。
(2) 図書館後援会	・ 趣旨に賛同くださる方から寄付金（会費）を募り、大活字本、DVDを図書館に寄贈した。 大活字本50冊、DVD等14巻寄贈

## 5 事業の評価

指定管理者制度の導入により、開館時間の延長や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を図り、利用者のニーズに応える多様な蔵書の配置を行っている。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	蔵書の内容充実に努め、これまでと同様に町民が関心を寄せる良書の選定や情報収集と職員の研修を継続する。閉架書庫の収納スペース拡大については検討を継続する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	17 文化財総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 文化財費

## 2 事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	町文化財保護審議会の開催、町の歴史講座の開催

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,387	補正額等	△2	合計	1,385	決算額	1,383
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 文化財保護審議会 会議：3回 研修：山形市、天童市 ・ 毎月の広報かほく15日号に各地区の由来、名所等を紹介する「かほく風土記」を掲載した。
(2) 河北町の歴史講座 3回 実人数で86人参加(延べ155人参加) ・ 第1回 齋藤茂吉文化賞受賞記念講演「山形の方言あれこれ」 12月9日(土) 56人参加 ・ 第2回 篆刻家 野川鼎象と碧山 1月13日(土) 40人参加 ・ 第3回 東本願寺御影堂再建にまつわる屏風 2月24日(土) 59人参加
(3) 指定文化財の指定 ・ 県指定有形文化財 東本願寺御再建につき献上木として御影堂一番御虹梁並びに御柱山出し運搬の図 4月28日指定 ・ 町指定史跡 谷地城本丸跡(三社宮と土塁) 7月20日指定
(4) 全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会出席 ・ 鶴岡市 7月6日～7日

## 5 事業の評価

文化財保護審議会の意見を尊重しながら文化財の保護に努め、貴重な文化財を町指定文化財に指定している。広報に「かほく風土記」を掲載し文化財の周知を図り、町の歴史講座は、リピーターが多く好評を博している。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町指定文化財の候補について調査を継続し、順次指定することで、文化財保護を推進する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	18 文化財保護事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 文化財費

## 2 事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	町指定文化財の指定と保護、史跡説明板設置

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	298	補正額等	20	合計	318	決算額	255
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

<p>(1) 県指定文化財の巡回</p> <p>(2) 無形文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像収録編集と公開（遊蔵、サハトベに花）…「河北町の祭事と民俗芸能」を追加</li> <li>・民俗芸能伝承活動の助成…岩木伝承活動保存会</li> </ul> <p>(3) 史跡説明板（柱）の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福富稲荷の石灯籠と龍神</li> <li>・押切・舞台渡船場跡</li> <li>・新吉田・吉野渡船場跡</li> </ul> <p>(4) 天然記念物の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町指定天然記念物「熊野神社の櫨」保全事業への助成</li> </ul>
--

## 5 事業の評価

無形文化財の収録映像の公開、史跡説明板の更新、文化財保護活動を行う団体へ助成することで、文化財保護精神の向上が図られている。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	指定文化財の現況把握調査や有識者の意見を踏まえ、損傷のある史跡説明板は計画的に更新するなど啓発活動を継続する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	19 サハトベに花管理事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
--------------------	---------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者制度の導入による施設管理、計画的な維持修繕

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	94,918	補正額等	4,489	合計	99,407	決算額	99,403
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センターサハトベに花の運営
・指定管理者 (株)河北町べに花の里振興公社
年間利用件数 2,179件 (前年度 1,988件)
年間利用人数 72,098人 (前年度 65,120人)
(2) プラネタリウム等の上映
・平成27年7月にリニューアルオープンした全天周劇場で毎日、プラネタリウム等を上映した。
年間上映回数 532件 (前年度 483件)
年間利用人数 6,684人 (前年度 6,315人)
(3) 工事等
・非常照明用直流電源装置整流器更新工事
・冷暖房設備改修工事
・トイレハンドドライヤー設置工事
・国道沿い施設看板入替工事
・図書館内自動ドア装置交換
・ホール多機能トイレ自動扉開閉装置修繕
(4) 備品購入
・イスおよびイス用台車の更新
・女子トイレ用ベビーチェアの設置

## 5 事業の評価

指定管理者によるプラネタリウム等の上映と天文関連イベント・講座の実施により、新しい利用者層が増加している。一方で、開館から20年以上が経過し、施設機器等の更新工事や修繕があった。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	経年に対応した修繕箇所をランク付けして計画的に修繕や更新の対応を図る。プラネタリウムは、更なる内容の充実と町内外へのPR活動を継続する。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	20 サハトベに花文化事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 5 サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	サハトホール事業・プラネタリウム・天文公開講座の実施

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	7,013	補正額等	▲618	合計	6,395	決算額	6,342
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) サハトホール事業
・「NHKのど自慢」(NHK山形放送局と共催) ゲスト：藤あや子、林部智史 平成29年5月6日(土)予選、5月7日(日)本番
・「アラウンド40メモリーコンサート」 出演者：中西圭三、沢田知可子、杉山清貴 平成29年8月25日(金) 入場者757人
(2) プラネタリウム・天文公開講座
・NPO法人小さな天文学者の会と連携し公開講座を実施した。 「山形の和算」 平成30年1月21日(日)

## 5 事業の評価

全国放送のNHKのど自慢をはじめとするホールイベントを開催することで来場者に満足いただき、また、町の知名度を上げることができた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後とも、町民のニーズに応えながら質の高い公演を計画する。また、NHK事業・宝くじ助成事業などの経費的な助成を見込める事業の調査・研究を継続する。



# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	21 芸術文化振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,210	補正額等	▲453	合計	1,757	決算額	1,750
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業（一般貸館を除く。）	町内の各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。
・共催事業：河北美術クラブ展	5月15日～ 5月21日
・自主事業：河北美術クラブ会員展（高橋信夫風景画展）	5月10日～ 6月14日
・自主事業：河北町書道連盟会員展（渡部美苑書作展）	8月 1日～ 8月30日
・総合文化祭：総合作品展	11月 3日～11月 5日
・総合文化祭：河北郷土史研究会展示	11月 7日～11月29日
・自主事業：河北美術クラブ会員展（管泰則作品展）	平成30年 1月 5日～ 2月 5日
・自主事業：「東本願寺御影堂再建 献上木屏風」展	2月24日～ 3月11日
・共催事業：河北町書道連盟会員展	3月13日～ 3月21日
(2) 文化祭の開催	
・町芸術文化協会加盟19団体の発表会（10月1日～11月26日）	
・記念式典・舞台発表会（11月3日）	
・文化祭の反省会・研修会（2月28日）	
(3) 各種芸術文化団体への補助	
・町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会へ補助金を支出し活動を支援した。	

## 5 事業の評価

展示事業は、各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。文化祭では町芸術文化協会加盟団体の発表会を10～11月に行ったが鑑賞者数に課題がある団体もある。県美展河北巡回展では、石巻市の絵画展示を新たに行った。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化祭の盛り上がりには、町芸術文化協会加盟各団体のPR活動や団体同士の連携が重要であり、芸術文化協会の活動活性化を進める。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	22 女性・青少年センター事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 6 女性・青少年センター費

## 2 事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,262	補正額等	0	合計	1,262	決算額	1,249
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 利用状況	・青年団や高校生ボランティアサークル・ピエロが、それぞれの活動拠点として利用した。また、河北青年会議所の事務所として、施設の一部占用を許可した(有料)。このほか、県の学習支援事業、ご・ざあーれ広場などで利用があった。
(2) 修繕	・ブラインド修繕(プラザ) ・灯油コック修繕(プラザ)
(3) 管理業務	・(株)河北町べに花の里振興公社に管理業務を委託 年間利用件数 172件(前年度 130件) 年間利用人数 2,461人(前年度 1,328人)

## 5 事業の評価

学習支援事業や定期団体の利用があり、利用件数・利用人数が増加した。
-----------------------------------

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設を維持管理するため適切な修繕を図る。利用拡大のために施設の存在を周知する必要があるが、「女性・青少年センター」としての機能を維持するのか、他の用途でも活用すべきかを調査検討していく。

# 事務事業点検・評価報告書

## 1 事業名等

事業名	23 交流館遊戯事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 7 交流館遊戯費

## 2 事業の概要

事業目的	まちなか交流人口の拡大、青少年層への伝統文化の紹介、生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	施設の維持管理、郷土資料館の展示、体験学習の実施、運動する機会の提供

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,950	補正額等	105	合計	5,055	決算額	4,945
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 利用人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場 794件、6,964人(前年度706件、6,094人)</li> <li>・郷土資料館 1,121人(前年度1,077人)</li> </ul>
(2) 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河北町シルバー人材センターに委託</li> </ul>
(3) 施設修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子トイレ手洗い場漏水修繕</li> <li>・郷土資料館タッチパネル用パソコン修繕</li> <li>・屋内運動場人工芝修繕</li> </ul>
(4) 常設展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り暮らし展示室…囲炉裏端と民具・農具の展示、囃子屋台の展示</li> <li>・匠の道具展示室…河北職業訓練協会より資料借用</li> <li>・来館者、小学生向け展示説明…河北町郷土資料館協力員</li> <li>・タッチパネルパソコンの設置・内容の更新</li> </ul>
(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文翔館企画展「和菓子の木型」展示へ資料貸出</li> </ul>

## 5 事業の評価

郷土資料館は、非常勤の協力員に展示替えや解説をお願いし、各小学校の社会科学習の見学先として活用されている。また、一部資料を文翔館に貸出した。屋内運動場はゲートボール、フットサル、輪投げ、テニス、野球等で昼夜使用され盛況を維持している。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	郷土資料館内の展示替えやタッチパネルのパソコンの内容更新を継続する。また、開館以来、大規模修繕は行っていないが修繕箇所がないかチェックを随時行っていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1、事業名等

事業名	24 保健体育総務事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する ・生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実	予算科目	款	10	教育費
			項	5	保健体育費
			目	1	保健体育総務費

## 2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民一スポーツの推進

## 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,751	補正額等	△19	合計	1,732	決算額	1,695
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4、事業の実施状況

- (1) スポーツ推進審議会を年3回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。
- (2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催による、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町体育協会表彰式にて表彰した。
- (3) 山形県スポーツ振興21世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。
- (4) 河北スポーツクラブは、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整え、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブである。その趣旨に基づき会員募集チラシを全戸配布し、新規の教室も加え会員の増加と円滑かつ継続的な事業の展開に努めた。
- |               |            |             |            |
|---------------|------------|-------------|------------|
| ・朝のストレッチ・ヨガ教室 | 通年 40回 30人 | ・ピラティス教室    | 通年 40回 35人 |
| ・ストレッチ・ヨガ教室   | 通年 40回 28人 | ・エンジョイ吹き矢教室 | 通年 20回 6人  |
| ・らくらくエアロピクス教室 | 通年 40回 15人 | ・キッズダンス教室   | 通年 40回 94人 |
| ・貯筋健康教室       | 通年 40回 19人 | ・卓球教室       | 短期 10回 21人 |
| ・骨盤ストレッチ教室    | 短期 20回 15人 |             |            |
- (5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館玄関にスポーツ情報提供の整備に努めた。

## 5、事業の評価

河北スポーツクラブでは、様々な教室の運営に努め、幅広い年齢層の方々から参加をいただいて成り立っているものと認識しています。自分の居場所やストレスの発散、仲間づくりなどスポーツを通じた人とのかけがえが人生を豊かにするものと評価しています。

## 6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	キッズダンス教室、ストレッチ・ヨガ教室、ピラティス教室が好評で、楽しく健康増進に努めているが、今後は、ダイエット教室やニュースポーツの教室なども考えていきたい。また、会員同士の交流会や文化的な教室などの開催なども考えていきたい。

## 事務事業点検・評価調書

### 1、事業名等

<b>事業名</b>	25 体育指導・教室事業	<b>所管課・係</b>	生涯学習課 社会体育係
------------	--------------	--------------	----------------

<b>施策体系</b> (教育振興計画)	VI活力ある生涯スポーツを推進する ・生涯スポーツの推進	<b>予算科目</b>	<b>款</b>	10	教育費
			<b>項</b>	5	保健体育費
			<b>目</b>	1	保健体育総務費

### 2、事業の概要

<b>事業目的</b>	スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
<b>事業内容</b>	区対抗総合スポーツ交流大会への協力とスポーツ少年団の育成

### 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	451	補正額等	10	合計	461	決算額	459
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

### 4、事業の実施状況

- (1) スポーツ推進委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画に努めた。
- (2) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、合同研修会、指導者協議会、母集団研修会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。

### 5、事業の評価

- (1) スポーツ推進委員の協力によって区対抗総合スポーツ交流大会の運営がスムーズに進めることが出来た。
- (2) 少子化の影響により団員数が減ったり、統合が進んだり再構築の流れの中、指導者と母集団が一体となって青少年の健全育成に取り組めた。

### 6、今後の対応等

<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが示され、スポーツ少年団の取り組み方も変化する可能性があり、地域にあったスポーツ少年団の育成に努める必要がある。

## 事務事業点検・評価調書

### 1、事業名等

<b>事業名</b>	26 各種大会開催事業	<b>所管課・係</b>	生涯学習課 社会体育係
<b>施策体系</b>	VI活力ある生涯スポーツを推進する ・生涯スポーツの推進 ・競技スポーツの充実 ・スポーツを通じた健康づくりの啓発	<b>予算科目</b>	款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費

### 2、事業の概要

<b>事業目的</b>	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
<b>事業内容</b>	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

### 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,404	補正額等	△128	合計	2,276	決算額	2,261
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

### 4、事業の実施状況

(1)	第33回べに花杯近隣市町ゲートボール大会を16チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。 ①開催期日 平成29年7月12日(水) ②開催場所 ひなの湯東公園
(2)	第22回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。 ①開催期日・平成29年6月4日(日) 輪投げ大会 147チーム(前年度146チーム) ・平成29年8月20日(日) スカットボール大会 136チーム(前年度135チーム) ・平成29年11月26日(日) ダーツ大会 153チーム(前年度159チーム) ・平成30年1月14日(日) シャフルボード大会 137チーム(前年度148チーム) ②開催場所 河北町民体育館
(3)	第62回山形県縦断駅伝競走大会で、寒河江西村山チームが11チーム中総合6位の成績であった。 ①開催期日 平成29年4月27日(木)から29日(祝・土) ②開催場所 県内一円
(4)	第34回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが11チーム中6位の成績であった。 ①開催期日 平成29年11月19日(日) ②開催場所 山形市周辺
(5)	第64回西村山地区駅伝競走大会に本町より2チーム参加し、11チーム中、Aチームが4位の成績であった。Bチームはオープン参加となった。 ①開催期日 平成29年11月12日(日) ②開催場所 西村山管内一円
(6)	第20回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各1チーム参加し、男子34チーム中6位、女子34チーム中5位の成績であった。 ①開催期日 平成29年8月12日(土) ②開催場所 蔵王坊平クロスカントリーコース

### 5、事業の評価

河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、700名から1,000名近くの参加者となり大変盛り上がる大会に成長してきている。世代間交流・地域間交流の一役を担っているものと評価する。
--

### 6、今後の対応等

<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	大会終了時間の繰上げに取り組み、参加者が楽しいひと時を過ごせる大会運営に努めたい。

# 事務事業点検・評価調書

## 1、事業名等

事業名	27 べに花関係大会開催事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する ・生涯スポーツの推進 ・スポーツを通じた健康づくりの啓発	予算科目	款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費

## 2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

## 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	0	合計	1,450	決算額	1,450
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4、事業の実施状況

<p>(1) 県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第30回べに花杯卓球大会を開催した。</p> <p>①開催期日 平成30年3月23日(金)・24日(土)・25日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館</p> <p>③参加チーム ・小学男子 14チーム ・小学女子 12チーム ・中学男子 25チーム ・中学女子 21チーム ・高校女子 11チーム</p> <p>(2) 第36回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。</p> <p>①開催期日 平成29年7月2日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館周辺</p> <p>③参加者数 800人(前年度853人)</p>
--

## 5、事業の評価

べに花マラソン大会は、ここ数年800名を超える参加者となっており、定着化が図られている。その中でも町外からの参加者が多く町のPRにもつながっている。
--

## 6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	昔と比べて気温の上昇が見受けられるが、給水所の増設や広報車などによる水分補給のアナウンスなどもしながらファミリーマラソンという位置付けを守って楽しく走れるよう工夫して運営に努めたい。

# 事務事業点検・評価調書

## 1、事業名等

事業名	28 体育施設事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する
	・生涯スポーツの推進
	・スポーツを通じた健康づくりの啓発
	・町民プールを活用した運動プログラムの提供

予算科目	款	10	教育費
	項目	5	保健体育費
	目	2	体育施設費

## 2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里振興公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

## 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	74,978	補正額等	31,865	合計	106,843	決算額	106,842
-------	--------	------	--------	----	---------	-----	---------

## 4、事業の実施状況

(1) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。 ①河北町民体育館 利用件数 1,196 件(前年度 1,207 件) 利用者数 50,910 人(前年度 56,442 人) ②サン・スポーツランド河北町民野球場 利用件数 102 件(前年度 102 件) 利用者数 5,005 人(前年度 6,672 人) ③サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 645 件(前年度 780 件) 利用者数 7,851 人(前年度 8,051 人) ④河北町野球場 利用件数 26 件(前年度 42 件) 利用者数 281 人(前年度 562 人) ⑤遊戯屋内運動場 利用者数 6,964 人(前年度 6,953 人) ⑥町民プール 利用者数 29,685 人(前年度 24,847 人)
(2) 河北町民体育館フラッシュタンク更新工事、ドレンヒーター漏電改修工事、サン・スポーツランド河北町民テニスコート人工芝張替え工事・スポーツトラクター購入を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。

## 5、事業の評価

体育施設の目的である競技スポーツ、生涯スポーツ等がより利用しやすく、また、多くの人に親しんでいただける維持管理に努めたい。
---

## 6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	大規模改修を見据えて計画的な工事に取り組みたい。



# 事務事業点検・評価調書

## 1、事業名等

事業名	29 スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する ・競技スポーツの充実	予算科目	10	教育費
			5	保健体育費
			3	スポーツ振興費

## 2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

## 3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,718	補正額等	△287	合計	4,431	決算額	4,387
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援
①町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。 ・激励金支給者 小学生14人、中学生18人、高校生9人、成年1人、合計42人 (前年度66人) ・垂れ幕掲示本数 世界的規模2本、全国的規模24本 合計26本(前年度25本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
①河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。
②日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。

## 5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金ともに有効活用していただいております。競技力向上に一役買っている。
--

## 6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	激励金支給・垂れ幕掲示は、スポーツ選手の励みになるため引き続き継続して支給していきたい。